

アカウミガメ

知らなければ、守れない！

～東京都市大学 環境学部 環境創生学科 田中章研究室～



下田での勉強会風景

本研究室は、失われる自然環境を復元・創造を促進するためにフィールドから政策まで一貫した研究を幅広く対象としています。2011年よりアカウミガメの産卵地保全プロジェクトを行っており、今年度（2017）は8月に「伊豆半島の自然環境 保全と利用のためのワークショップ」というテーマで開催しました。

アカウミガメクイズ



アカウミガメの雌雄は何によって決まるでしょうか？



※答えは右のパネルにあります。

エコロジーとエコノミーの連携

開発事業者 ・農林漁業者

<メリット>

困難な生物多様性オフセットの義務を容易に全うすることができる。広報活動等に協力することで企業のPRができる。

- ・クレジット購入代金
- ・CSRとしての支援金
- ・広報活動の協力



NPO・NGO ・一般市民

<メリット>

維持・管理活動に資金が提供される。人材育成の場を提供できる。

- ・維持管理の労働力費用
- ・人材育成費用

研究機関・ 大学

<メリット>

研究のためのフィールドを得ることができる。費用の援助により、研究を発展させることができる

- ・研究費用
- ・専門的なアドバイス費用
- ・人材育成費用

自治体

<メリット>

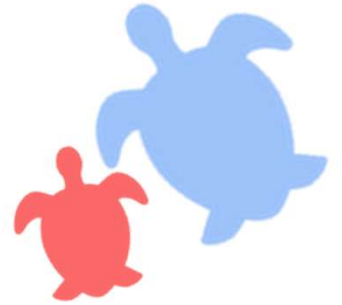
里海保全事業を新たな公共事業とする。指標種やその生息地である沿岸域をシンボルとして町おこし事業として利用できる。

- ・助成金



里海バンキングのモデル図

産卵の地



アカウミガメが絶滅危惧種！？

アカウミガメ (*Caretta caretta*) は、IUCN (国際自然保護連合) と環境省が作成しているレッドリストで共に絶滅危惧種 I B (EN) に指定されている。



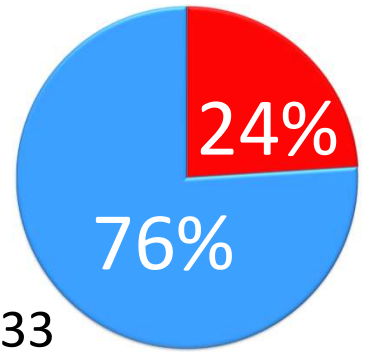
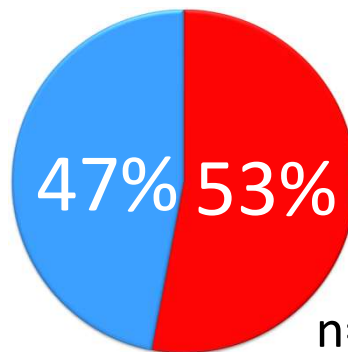
入田浜の美しい砂浜

昔はよく来ていたが
5~6年前頃を境に
見なくなった。
下田市在住
80代 女性

下田でのアカウミガメ 産卵地の認知度は？

Q日本に産卵に来ていることを知っている Q下田に来ていることを知っている

稚ガメは台風と一緒に、流れるように海へ帰っていくことがあり、アカウミガメが砂浜の奥に産卵すると台風が来ると言われている。
下田市在住 80代 男性



n=233

■ 知っている ■ 知らない

アカウミガメクイズの回答

アカウミガメの雌雄は砂中温度によって決まります。29.7℃を境に、それ以上だとメスが生まれる可能性が高くなり、以下だとオスが生まれる可能性が高くなると言われています。

屋久島発うみがめのなみだその生態と環境より抜粋

《問い合わせ先》

東京都市大学環境学部環境創生学科

田中章研究室

担当：金井瑞希

TEL: 045-910-2928 FAX : 045-910-2929

E-mail: landscape.ecosystems@gmail.com

研究室HP: <http://www.yc.tcu.ac.jp/~tanaka-semi/>

下田プロジェクトHP: <http://www.yc.tcu.ac.jp/~tanaka-semi/index2.html>

